

ショクダイオオコンニャクとは

ショクダイオオコンニャクは、インドネシアのスマトラ島に生育するサトイモ科の希少植物(絶滅危惧種)です。高さ3m、直径1m以上にもなる大きな花を咲かせることから、「世界で一番大きな花(正確には花序)」と言われており、腐った肉のような強烈な悪臭を放つことで有名です。

地下に大きな芋(球茎)があり、毎年そこから1枚の大きな葉を出して栄養を蓄えます。このサイクルを数年経て、球茎が十分に大きくなるとその年には葉を出さず、花芽を伸ばして花を咲かせます。



ショクダイオオコンニャクの葉

よくある質問

A: 7年に一度とも言われていますが、必ずしもそうではありません。十数年かかった例も知られていますし、開花から次の開花まで2年間だった例もあり球根の栄養状態によるようです。当園のショクダイオオコンニャクは、前回は約2年で、今回は1年半で花芽をつけました。

Q: どんな匂いがするの?

A: 肉が腐ったような匂いと言われていますが…。是非、ご自分でご判断を…。

Q: いつまで花は見られるの?

A: 開花は概ね2日間程度です。夜咲きで開花当日の深夜に大きく開きます。翌日の朝方には、花は閉じ始めます。閉じたあとは、気温にもよりますが1週間程度そのまま、やがて萎れて、付属体が倒れて花は終わります。観賞されるなら早い方がよいでしょう。

Q: 芋はコンニャクにして食べられるの?

A: コンニャクの仲間ですが、食べられるかどうかは分かりません。原産地では、コンニャクを食べる習慣がないのでショクダイオオコンニャクも食べません。第二次世界大戦中に、現地に日本軍が侵攻した際、コンニャクを作ったという話を聞いたことがありますが、食べたかどうかは記録がなく分かりません。ただ、相当アクが強いこと、コンニャクの主成分のグルコマンナン含有量が食用のコンニャクに比べ低いという分析結果があり、食用には向かないと思われます。

2022

ショクダイオオコンニャク 解体新書



神代植物公園

Jindai Botanical Gardens

神代植物公園のショクダイオオコンニャク

現在、大温室 熱帯スイレン室に展示中の個体は、今回が5回目の開花となります。このたびは花と葉が同時に出るという世界でも2例目の珍しい咲き方になりました。

この個体は平成8年(1996年)に葉挿しされたものを、平成19年(2007年)に小石川植物園から譲り受け、当園で栽培しています。これまでに、平成23年(2011年)11月と平成27年(2015年)9月、令和元年(2019年)7月、令和3年(2021年)6月に開花しています。

開花の記録

●平成23年(2011年)11月30日

植替え時の芋(球茎)の重さ: 19kg

花序の高さ: 107cm

仏炎苞の直径: 73.5cm

メモ 付属体の一部が欠損していました。

●平成27年(2015年)9月6日

植替え時の芋(球茎)の重さ: 19kg

花序の高さ: 137cm

仏炎苞の直径: 61cm

メモ 付属体は完全な形になりましたが、小ぶりの花でした。

●令和元年(2019年)7月26日

植替え時の芋(球茎)の重さ: 33kg

花序の高さ: 222cm

仏炎苞の直径: 104cm

メモ これまでもっとも均整の取れた姿でした。

●令和3年(2021年)6月24日

植替え時の芋(球茎)の重さ: 35kg

花序の高さ: 249cm

仏炎苞の直径: 108cm

メモ これまでもっとも大きく育ちました。(国内第2位の高さ)。

●令和4年(2022年)12月 日

植替え時の芋(球茎)の重さ: 26kg

花序の高さ: _____ cm

仏炎苞の直径: _____ cm

わんぱく
はこぼれ!!



東京都立 神代植物公園 指定管理者: (公財)東京都公園協会

〒182-0017 東京都調布市深大寺元町 5-31-10

TEL: 042-483-2300 (9時半~17時※休園日除く)

月曜日休園(祝日の場合は翌日) <http://www.tokyo-park.or.jp>

ショクダイオオコンニャクの花の中を見よう!!

注

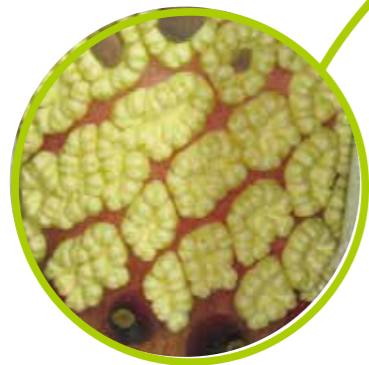
雄花、雌花は仏炎苞に囲われ外から見えません。昆虫が媒介して受粉を行う虫媒花です。



※中身

ふぞくたい 付属体

2m以上に伸び、臭い匂いを出す。中身は白く繊維状になっている。



おぼな 雄花

たくさん集まっている。花弁はない。黄色くモコモコしている。開花したばかりの時は熟しておらず、雌花の後に熟す。



めぼな 雌花

たくさん集まっている。花弁はない。赤黒い雌しべがたくさんあり、柱頭は熟すと黄色くなる。雄花よりも早く熟す。



ぶつえんほう 仏炎苞

プリーツ状になっている。内側は白い粉がついてすべすべしており、匂いに集まった虫はすべり落ちる。



かけい 花茎

短い茎で花を支える。表面は緑色で斑点模様がある。中身は白くスポンジ状になっている。



きゅうけい 球茎

重さ：35 kg
直径：50 cm
周囲：159.5 cm
※2021年2月24日の植替え時点扁平な球状で、ごつごつしている。中央のくぼみは前年葉が出ていた跡で、ここから新しい芽が出る。

球茎の重さを計測中！
35kgは重い！！



体重計